

大念佛

No.102
発行/融通念佛宗
総本山 大念佛寺
大阪市平野区平野上町1-7-26
TEL.06-6791-0026



このQRコードで
大念佛寺にアクセスできます。
大念佛寺 検索
<https://www.dainenbutsuji.com/>

題字：融通念佛宗 管長 吉村暲英

万部法要に因んで

5月1日(木)
5月5日(月)



隋想「万部百景」

万部法要は総本山大念佛寺の伝統行事として歴史的にも貴重な意義があり、その規模においても、宗内僧侶と檀信徒さらには地域の人びとが一体となつてとり行なわれる一大行事である。

の貞和五年（二三四九）、法明上人の創始による「二十五菩薩練り供養」と、江戸時代の明和六年（一七七〇）、堯海上人創設の「阿弥陀経万部会」が合体した法要である。菩薩来迎の練り供養も、阿弥陀経を一万部を誦誦し、有縁無縁の諸霊を供養する万部についても、その意義と内容はこの紙上において

再三、述べられてきた。今回は趣向を変えて、万部の持つ底辺の広がりを目を向けてみたいと思う。それというのも、万部法要が今に至つてその光彩を失うことなく、人びとに親しまれていくことを考えるとき、参拝者ひとりひとりの思いが、この法要の隅々にまで行き届いていると思うからである。

食事を作る人、掃除をする人、参拝者の留守居をする人等、いわゆる「縁の下の力持ち」的な人までも含めると膨大な数になる。しかし今は、それらの人は別にして、直接、法要に参拝した人に限定することにしよう。

私の知人で毎年五月一日午前中に必ず参拝する人がいる。それは祖父と両親の追善回向のため、納骨堂へお参りし、お勤めが済むと気持ちやすとしたといつてすぐ帰宅する。午後のお練りには参つたことがない。その人には万部は納骨堂で先祖回向をしてもらうことなのである。

融通教会の老婦人は、お練りに出て万部和讃に合わせて扇踊りをするのが万部である。諸役、諸講中の人は、それぞれの持ち場で精一杯お勤めをする。稚児行列に出た人は、母親に手を引かれて来迎橋を渡御したことが一生のよき思い出として成人してから懐しく万部を振り返る。

声明の好きな人は、声明コンサートだけを聞きにくる。献茶献花の社中さんは、忙しいお茶の接待の合間を縫って渡御に出る。そこに万部がある。本堂の東北に小さな屋台がしつらえてあり、南河内の森屋地区と東成区の今里地区の老婦人によって結制された観音講によって毎日、

詠歌踊りが行われていた。見物人は少なく、二、三人のときでも熱心に歌い踊っていた。少し視点を替えて露店に目を向けてみよう。今も境内の内外に露店が出るが、昔はその数が今よりずっと多くて、様々な種類の店があった。変わったところでは、「のぞき」があった。これは「覗きからくり」のことである。木製の木枠で作った大きな箱の中に、物語の筋に応じた幾枚かの絵があり、弁士が箱のふちをパチパチ叩きながら、流麗な節回しで講釈する。それを箱の前方にある穴から覗きめがねで眺めるといふものである。

大念佛 TERA's 第8回
おとなも子どもも！
うれし祭 たのし祭
5/3(土)・4(日)・5(月)
入場無料

買ったのし！ ハンドメイド販売
作ったのし！ ワークショップ
心も体もうれし！ 美容・歯し
食べよう！ カフェ軽食

10時～16時
総本山 大念佛寺 延喜殿3F
〒547-0041 大阪市平野区平野上町1-7-26
うれし祭のし祭り
大念佛TERA's実行委員会
Instagramのメッセージより
雨天決行 天候次第により中止の場合も
Instagramにて発表します。

正面山門を出たところに、まっ赤に茹でた川蟹を売る店が四、五軒並んでいた。当時はこれを万部名物という人もかなりいたのを覚えていた。そして面白い話もある。

また本堂北側に、かなり広い土地を占めて植木市があった。毎年お気に入りの苗木を買うのを楽しみに、多くの人が集まっていた。中にはどうして持ち帰るのだろうと心配するくらい、両手一杯に若木を抱え込む人もいた。

今ではその蟹店もなくなつてしまった。今昔の感、一入である。万部はそれぞれの人にそれぞれの思いを刻んできた。これから先も刻んでいくであろう。「それぞれの万部」という言葉があるように、百人百様の万部がある。これを個人的に捕えれば、私の万部ということになる。

あるとき参拝者の一人が寺務所を訪れていうには、「どうしてお寺の法要に蟹が出てくるのですか」と質問したのだ。そのとき応待に出たお坊さんが実にいいことを言った。「人間というのはいまを正直に人生の道を歩まなくてはいけない。もし道を踏みはずして横道にそれてしまつたらあつた蟹のように、赤く茹でられてしまつてしまう戒めです。」

かけがえのない人生の一駒に、万部法要の参拝が懐かしい思い出として佳き色どりを添えてくれることを願うものである。

どのような万部のとらえ方でも、そこには目に見えない大切な信仰が芽吹いていることを忘れてはならない。

あるとき参拝者の一人が寺務所を訪れていうには、「どうしてお寺の法要に蟹が出てくるのですか」と質問したのだ。そのとき応待に出たお坊さんが実にいいことを言った。「人間というのはいまを正直に人生の道を歩まなくては

あるとき参拝者の一人が寺務所を訪れていうには、「どうしてお寺の法要に蟹が出てくるのですか」と質問したのだ。そのとき応待に出たお坊さんが実にいいことを言った。「人間というのはいまを正直に人生の道を歩まなくては

令和7年 万部法要 奉納行事 日程・時間表

スケジュール

日程 時間	5月1日(木)	5月2日(金)	5月3日(土) 憲法記念日	5月4日(日) みどりの日	5月5日(月) こどもの日
	交通安全祈願	諸芸上達祈願	家内安全祈願	万国戦災諸霊追悼法要	世界平和祈願
6時30分	半齋勤行 朝のおつとめ	半齋勤行 朝のおつとめ	半齋勤行 朝のおつとめ	半齋勤行 朝のおつとめ	半齋勤行 朝のおつとめ
9時30分	おつとめ 阿弥陀経 読誦	おつとめ 阿弥陀経 読誦	おつとめ 阿弥陀経 読誦	おつとめ 阿弥陀経 読誦	おつとめ 阿弥陀経 読誦
10時					
10時30分		奉賛会 祈願法要			
11時	八島町 六齋念仏鉦講	東安堵 大寶寺 六齋念佛講	融通声明 コンサート 【融通声明研究会】	雅のハーモニー 雅楽演奏 【楽融会】	講談 「大念佛寺亀鉦騒動」 【旭堂みなみ、旭堂南高梅】
11時30分	大和各地の檀信徒に広がる 様々な念仏法式を披露して ください。		心の琴線に触れる融通念佛 宗独自の「声明」を堪能して いただけます。	1200年以上の歴史を持つ 伝統音楽「雅楽」を融通念 佛宗「楽融会」の演奏により お楽しみいただけます。	大念佛寺に伝わる寺宝の一つ である鉦、「亀鉦」。その物語に は講談で伝えられている別伝が あり、講師お二人が“立体講談” 型式で聴かせていただきます。
12時	魚山流 詠讚歌舞	仏教讃歌	魚山流 詠讚歌舞	仏教讃歌	魚山流 詠讚歌舞
13時	布教 横田 丈実 師	布教 関本 和弘 師	布教 溪村 真司 師	布教 村井 實道 師	布教 吉村 明山 師
14時	菩薩による伝供式 (献華)	菩薩による伝供式 (献華)	菩薩による伝供式 (献華)	菩薩による伝供式 (献華)	菩薩による伝供式 (献華)
15時	阿弥陀経 万部読誦 万部結縁 回向	阿弥陀経 万部読誦 万部結縁 回向	阿弥陀経 万部読誦 万部結縁 回向	阿弥陀経 万部読誦 万部結縁 回向	阿弥陀経 万部読誦 万部結縁 回向
15時30分					

※各種奉納行事の内容・時間については、変更する場合がございます。

行事紹介

- 布教** 融通念佛宗布教師会による布演（お説教）を毎日行っています。
- 詠讚歌舞** 味わい深い詠讚歌と華麗な舞踊をご披露いただきます。
- 仏教讃歌奉納** 心洗われる詞と美しい旋律の仏教コーラスをお届けいたします。

本年はお稚児さんの募集はしておりません



話せば、心も軽くなる。

仏事相談、信仰相談、
その他あらゆる人生相談を、
十宗派の僧侶がお受けします。

2025 月曜日・日蓮宗
火曜日・浄土宗 融通念佛宗
水曜日・浄土真宗本願寺派・真宗大谷派
木曜日・天台宗・真言宗
令和7年 金曜日・臨濟宗・曹洞宗・黄檗宗

※年ごとに各宗派の担当曜日が変わります



大阪仏教テレホン相談室

☎ 06-6949-9010

月曜日～金曜日 午後2時～5時（祝日は休業）

※電話番号が変わりました

大阪仏教テレホン相談室

大念佛寺に伝わる寺宝の一つである鉦、「亀鉦」は天治二年（一一二七）に鳥羽上皇が良忍上人を招いて融通念佛会を開き、愛用の鏡を鉦に鑄なとして上人に贈ったもので、「鏡鉦」と呼ばれ、念仏の勸進に使われてきました。第七世法明上人は元亨三年（一一三三）に教信寺参拝のため、海路で旅立ちましたが、鳴保崎沖で大嵐に遭遇し、船が転覆しそうになりました。その時、龍神の怒りを鎮めるため「鏡鉦」を断腸の思いで海に投げ、これにより嵐を静めることができました。教信寺からの帰りに同じ場所で大いなる亀が「鏡鉦」を頭に載せて返しに来たことから、以後「亀鉦」と呼ばれるようになったのです。この物語には講談で伝えられている別伝があり、万部では五日にその別伝を講師の旭堂みなみ、旭堂南高梅のお二人が「立体講談」型式で聴かせていただきます。乞うご期待！



旭堂 南高梅



旭堂 みなみ

五月五日 大念佛寺亀鉦騒動

大念佛寺に伝わる寺宝の一つである鉦、「亀鉦」は天治二年（一一二七）に鳥羽上皇が良忍上人を招いて融通念佛会を開き、愛用の鏡を鉦に鑄なとして上人に贈ったもので、「鏡鉦」と呼ばれ、念仏の勸進に使われてきました。第七世法明上人は元亨三年（一一三三）に教信寺参拝のため、海路で旅立ちましたが、鳴保崎沖で大嵐に遭遇し、船が転覆しそうになりました。その時、龍神の怒りを鎮めるため「鏡鉦」を断腸の思いで海に投げ、これにより嵐を静めることができました。教信寺からの帰りに同じ場所で大いなる亀が「鏡鉦」を頭に載せて返しに来たことから、以後「亀鉦」と呼ばれるようになったのです。この物語には講談で伝えられている別伝があり、万部では五日にその別伝を講師の旭堂みなみ、旭堂南高梅のお二人が「立体講談」型式で聴かせていただきます。乞うご期待！

融通念仏ゆかりの地 吉野金峯山寺 蔵王堂・勝手神社

金峯山とは、奈良県の吉野山から大峰山に至る一帯のことで、飛鳥時代から聖地とされています。金峯山寺は金峯山修験本宗の総本山です。宗派を越えて多くの僧侶、修験者が入山し修行をしています。

勝手神社は、吉野大峰山の鎮守社である吉野八社明神の一人で、かつては「勝手明神」と呼ばれました。

金峯山寺の年中行事に四月十一日、十二日に花供会式という行事があります。正式には花供懺法会といひ、吉野全山の桜を本尊、金剛蔵王権現にお供えするという法要です。そして、法

要を営んだ後、「千本づき」で

ついた餅を撒く餅まき行事があります。江戸時代文化年間（一八〇四〜一八一八）の書物「諸国図絵年中行事大成」の「吉野餅配」の記事には、「吉野全山の堂社にお供えした餅を蔵王堂の広場で、参詣の人々や吉野山中の寺々や家々に残らず配った、これを餅まきまたは、餅配りという。」と江戸時代の花供会式の様子が記されています。

また、この江戸時代の行事の古例として、「摂州西成郡濱村（現大阪市北区）源光寺より、大念佛寺の本堂の一佛十菩薩の画像にお供えいただいた鏡餅を



勝手神社

年初めに吉野蔵王の使者が、おさがりにもらい受け、この時に大念佛寺よりその鏡餅に末廣扇一本と苧二束を添えて蔵王堂の使者に託し、再び蔵王権現、子守、勝手明神にお供えして後、鏡餅を破砕き、大量の米の中へ交て



蔵王堂

炊き、再び餅にして、配餅とする行事があり、これが今日に続く吉野餅配である。」と書かれています。

また、当時、「毎年三月子守、勝手明神の神事に大念佛寺より僧が来て、神役をつとめた。」と記事があります。これは良忍上人が、弟子の頼澄と吉野に花見に来た際、ちょうど勝手明神の祭礼の日で、渡御の行列に出会いました。良忍上人は目の前の神輿に向かい、お念仏を唱え

お唱えしました。唱え終わりに、数珠をすると、テコでも動かなかった神輿を持ち上げることができた。それ以来、勝手明神の祭礼の際は、大念佛寺から使僧を招き渡御の出發の時に神輿の長柄に手を掛けてもらうのが習わしになった。という伝承に因んでいます。

また、「春秋彼岸時正の日、四天王寺で、融通念佛会を厳修するため、大念佛寺の僧侶が四天王寺に赴き参加し、この時吉野より太郎というものが来て大念佛寺上人に供奉した。」とも記述があり、「これは皆、融通念佛の開祖より伝わる例である。」と記されています。

紫金職任命



磯田 良孝 師

令和七年度の紫金職に、第一教区大阪府堺市堺区寺町、林昌寺老院の磯田良孝師が任命された。紫金職は、本宗僧侶にとって荣誉ある役職であり、任職在任期間が二十年以上などの条件を満たした僧侶の中から選ばれる。任期は二月

一日から一年間で、大念佛寺の三祖忌法要や万部法要などにおいて、管長殿下の前座導師を務める。磯田師は昭和五年、大阪市生野区に生まれ、昭和二十八年に入寮。以来、布教師会会長、御回在審議員、寺院等級審査員、菩薩役役員などの要職を歴任し、長年にわたり本宗の僧侶育成に尽力してきた。任命にあたり、磯田師は「予期せぬ推挙に驚きを禁じ得ないが、仏縁の賜物と捉え、神仏のご加護に身を委ね精進してまいります。皆様のご法助をお願い申し上げます。」と述べられた。

青年会だより

生を導いて下さいます。願い事、それは計り知れない思い、希望、目標。菩薩様のお力添えをいただき、願いが叶いますようにと思いを込めて青年会の僧侶が祈願法要を勤め、その後お焚きあげさせていただきます。ぬりえの会場展示は三日〜五日の三日間、延喜殿三階を予定しております。今年も皆さまのお越しを青年会一同お待ちしております。

万部法要中、青年会では沢山の方々に、楽しんでお寺や仏様に興味を持っていただけるようにぼさつさまぬりえコーナー、青年会活動報告、グッズ販売を行っています。ぼさつさまぬりえコーナーは毎年大人気で、思いを込めて菩薩様を色鉛筆でカラフルに塗って、最後に願い事を書いていただき、万部中にどんな会場内の壁に貼っていきます。会場内は色とりどりの菩薩様にかこまれて、華やかな雰囲気になります。

今年も皆さまのお越しを青年会一同お待ちしております。

融通念佛宗青年会
会長 片井順香

今年デザインは二十五菩薩練り供養で二十二番目に出現される「大自在王菩薩」です。華幢を持たれ、無碍自在をもって、一切衆



末寺巡礼 奈良市 白石興善寺

大栄山興善寺は奈良から伊勢へ向かう伊勢街道沿いの旧都祁村（現奈良市）白石に建つ。融通念佛宗大和七大寺の一つで古くから本宗の中心的な役割を担ってきた。開山は大念佛寺第七世法明上人の弟子、第八世興善と云われるが詳細は不明である。



興善寺 山門

寺伝『聞書覚書』によると、多田家の馬取の弥助という者が天正九年（一五八一）に織田信長が伊賀を攻めた時、多田氏は筒井順慶に従って名張口に向かったが力の強い弥助は黒田河原で敵六人を切り伏せた。ところがその六人はいずれも親戚の者であったので、それより髪を切り名を道音と改め、草庵を建てて念仏三昧に暮らした。

そのうち、「汝の念仏の像は平野にあるから、それを請うて融通念佛を念じよ」という阿弥陀仏のお告げを受け、それ以来、道音はこの白石の地において融通念仏を信仰するようになり、当寺の現在の場所においての開基とされる。

又、後の元禄五年（一六九二）三月二八日の東大寺大仏殿開眼法要に当時の住職廓誉が出仕し、元禄九年（一六九六）には本堂建立

と記されている。本尊は阿弥陀如来坐像で左手を下げ、右手は肘を曲げて上品下生印を結んだ来迎印の阿弥陀像で蓮華座上に結跏趺坐する。木造で藤原時代後期の作とされる。



阿弥陀如来坐像

当寺の大きな行事に「白石の双盤念仏」がある。檀家有志による鉦講の人達によって直径五十七センチメートル程の大きな双盤鉦を叩きながら念仏を唱えるもので、南無阿弥陀仏の名号を息を長く引き伸ばすようにして唱える特徴的な唱え方とそれに合わせて鉦を叩く独特の所作を伴うものである。毎年、盂蘭盆会、地藏会式、十夜法要に行われ、平成二十年には奈良県指定無形文化財に指定されている。境内には本堂、客殿庫裡のほか納骨堂、龍王堂がある。又、本堂裏の山は観音山と言われ、西国三十三箇所石仏が各所に安置されており巡礼することができる。



興善寺 本堂

瓦勸進のお礼

総本山大念佛寺の本堂は現在も工事の幕に覆われて、外から中の状態を見通すことはできません。ですが、その中では着々と工事が進み、今はその屋根に新しい銅板瓦が葺かれつつあります。お陰様で、沢山の方々から瓦寄進をいただき、皆様のお名前を記した瓦が今も大屋根を覆いつつあります。そして、今回の葺き替え作業の進捗に伴い、本山では昨年末を持ちまして、本堂改修における銅板瓦の寄進受付を終了とさせていただきます。

ここに改めて御喜捨をいただいた数多くの皆様に厚く御礼を申し上げます。皆様から寄進をいただいた瓦は、二十二世紀の世まで大堂を守り、輝き続けていくことでしよう。新しく生まれ変わった総本山大念佛寺の本堂が姿を現すまであともう少し、どうか楽しみにお待ちください。

小径

今年もプロ野球をはじめ、多くのスポーツが盛り上がりつつあります。九月には東京で世界陸上も開催され、スポーツ観戦の楽しみがさらに増えます。

ところでよく健康寿命を延ばすために適度な運動が良いとされますが、実は身体は動かさなくてもスポーツ観戦だけでも健康増進に繋がると言われています。観戦することで私達はどちらが勝つか分からない状況に興奮したり緊張で手が汗ばんだりします。これにより体内の筋交感神経活動が活発になり心拍数、呼吸数、

随園

万部法要における回向、勸進

先祖回向だけでなく「世界平和」「家内安全」「病氣平癒」「身体堅固」「心願成就」など具体的な祈願もお申し込み下さい。

- 受付：本堂前テント
 - 万部常回向 回向料五千元
 - 当座回向 回向料三千元
 - 別回向 回向料五千元
 - 楽邦殿(納骨堂)にて受付順にお勤め(約十五分)いたします。
 - ロウソク勸進 大ロウソク(御本尊用)千円 カップロウソク (八月十六日万灯会用)三百円
- 願いと感謝の心を燈火に託してください。
- 受付：楽邦殿(納骨堂)

篤志寄付のお願い

みなさまにおかれましては、日頃より大念佛寺に対し、何かとご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。またこの度は令和の本堂大改修に多大なるお力添えをいただきましたこと、重ね重ね厚く御礼申し上げます。

現在本堂の改修工事は今年十一月末の引き渡しに向けて順調に進んでおり、万部法要明けから徐々にその大屋根が姿を見せてくれることと思います。これを受け、本山では来春に落慶法要を執り行うべく計画を進めております。様々なイベント案が上がってきておりますので、どうか楽しみにお待ちください。

さて、令和十三年に予定されております、元祖良忍上人の九百回御遠忌法要に向けての事業として、今回の「本堂大改修」が計画された訳であり、本山では今後御遠忌法要に向けて色々と準備を進めて参ります。つきましては、今後も皆様からのご協力を賜りたく、ここに改めてお願いを申し上げます。次第です。諸色高騰の折、誠に恐縮ではございますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

また、かねてより「令和の本堂大改修」に結縁の皆様から納経頂いております写経と写仏について、大改修工事の完成を機に、ご本尊様が祀られる中央祭壇「宮殿」の上部天井に奉納させていただきます。この奉納には令和七年十一月三十日までに納経していただいた写経写仏を対象とし、以降につきましては、宮殿下の須弥壇内に奉納させていただきます。

大念佛寺 インスタグラム

このQRコードでアクセスできます。

DAINENBUTSUJI.1117

フォローしてね